



## 臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータの利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

### **【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】**

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-5550-4101

聖路加国際大学大学院公衆衛生学研究科 村上睦美

### **【研究責任者】**

聖路加国際大学大学院公衆衛生学研究科 村上睦美・浦山ケビン

# AYA 世代がん患者の妊孕性温存への希望や支援に関する 質的調査研究

## 1.研究の対象

- ・「AYA 世代（思春期・若年成人）がん患者のがん・生殖医療に対する経済的負担に関する実態調査」（2021年2月～8月実施）の参加に同意され、アンケートに回答された方

## 2.研究の目的・方法

- ・AYA 世代ががんを発病すると、治療法・時期の選択だけではなく、将来に子どもを持つための妊孕性（生殖機能）を温存するかどうかの決断も迫られるなど心理的な負担が大きいと言われています。
- ・この研究は、AYA 世代のがん患者さんが将来に向けて妊孕性温存（精子・卵子・受精卵・卵巣組織の凍結や精巣内精子回収術など）を行うかどうかの意思決定の過程で、必要としていた支援や希望について明らかにすることを目的とします。
- ・なお、今回の調査で新たに収集するデータはなく、2021年2月から8月までに実施された上記のアンケート調査データを利用します。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2022年3月31日までの予定です。

## 3.研究に用いる試料・情報の種類

- ・この調査で扱う主なデータ項目は以下となります。  
自由記載項目
  - ①「がん治療開始前に妊孕性温存術を行うかどうかを決めるまでの過程でどのようなサポートがあるとよいと思いますか」
  - ②「あなたががん患者への生殖医療に対し、希望すること」選択式項目  
年齢、性別、がん診断時の年齢・時期・がんの種類・ステージ・婚姻状況・職業・収入・子どもの有無、妊孕性温存術実施の有無・実施しなかった理由等。